



2023年 第2回定例会 一般質問から

環境先進都市 **ゼロカーボンまちだ** 実現へ

カーボンニュートラルを支援する基金設置を!

世界的な課題となっている「地球温暖化」。歯止めをかけるには、地球温暖化物質の排出を抑制する必要があります。日本政府は「2050年カーボンニュートラル」を国際約束として宣言し、実現への取り組みを強化しています。

カーボンニュートラルというのは、二酸化炭素の排出量と森林が吸収する量が釣り合う状態をいいます。

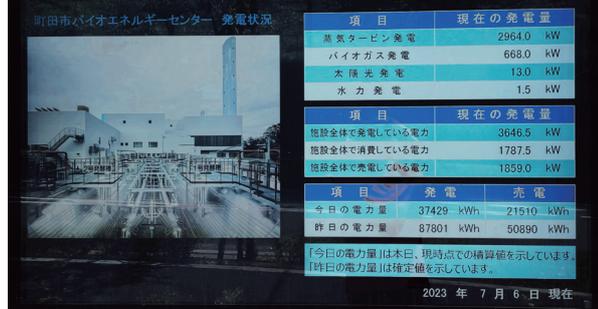
町田市は環境先進都市「ゼロカーボンシティまちだ」に向け、市民の皆さんや民間事業者との連携を強化しています。この取り組みを加速するため、**財政的な裏付けをしていく費用が必要であると考え、基金の設置を訴えました。**

財源としてはゴミ袋の販売代金や、バイエネ君(バイオエネルギーセンター)が生産する電力の販売収入などが考えられます。町田市としても「**財源確保の方策として基金の設置に関して研究していく**」との答弁を得ました。

プラスチックのケミカルリサイクルを提案

プラスチックは有用な素材ですが、使用後のごみ処理が問題になっています。プラスチックのリサイクルはいくつか方法がありますが、燃焼しエネルギーとして回収する「サーマルリサイクル」はCO₂を発生させるため、元の化学物質に循環させる「ケミカルリサイクル」の有用性が注目されています。

川崎市では化学企業と連携し、廃プラスチックをアンモニアなど有用な化学物質として再生産する仕組みを確立しています。ケミカルリサイクルの取り組みは自治体のみではなく、事業者との連携や市民の協力が不可欠となります。こうした点を踏まえて町田市の考え方を聞きました。町田市もケミカルリサイクルの有用性を認めるとともに、事業者、市民との連携を重視していく姿勢を示しました。



町田市バイオエネルギーセンターと館外に設置されている発電状況のモニター

小山田に子どもクラブが誕生

市議会公明党は、子どもの居場所の充実を図るため、子どもクラブの整備を進めています。7月15日、市内7館目となる、小山田子どもクラブ「ゆめいく」がオープンしました。ゆめいくの由来には、「夢をはぐくむ 夢に向かっていく 夢をつくる」との意味があります。地域の子どたちに考えてもらい、中学生が応募したものです。



魅力ある忠生・北部地域づくりを市が約束

市街地調整区域は住宅、商業施設などの建設が規制されています。忠生・北部地域はその一つです。今後、同地域は多摩都市モノレールや小田急多摩線延伸が予定されており、こうした規制のなかで、どのようなまちづくりを進めるかを問いました。

市は、区分変更は都の所管であり、現状維持方針であることを踏まえつつ、「モノレールとバスの乗り継ぎ拠点周辺では、生活に必要な便利施設や働く場を誘導するなど土地利用を図り、魅力ある都市空間を作る」と答弁しました。



忠生・北部地域の都市計画マスタープラン

忠生地域・バリューアッププランを推進

忠生地域では、町田リサイクル文化センター周辺まちづくり協議会が、町田リサイクル文化センターの建て替えを契機として、最終処分場跡地と旧埋め立て地をスポーツ振興や防災など多様な機能を導入して、次世代が楽しく安心して生活できる「忠生地域・バリューアッププラン」を作成しており、私はこの活動を全面支援しています。

特に民間の視点での健康増進、スポーツ新興の発展は、ソフト・ハード面で不可欠と考えています。議会質問でも自治体と民間の連携の必要を訴え、市もその重要性に対する認識を共有しました。ソフト面では、取組事例として、総合型の地域スポーツクラブの設立を提案しました。



忠生スポーツ公園のイメージ図

がん患者へのアピアランスケアがスタート

市議会公明党が制度の充実を訴え、予算措置などを要望してきた「がんのアピアランスケア支援事業」が、6月定例会の補正予算で可決され、7月1日から開始となりました。

詳細は保健所健康推進課(042-725-5178)まで。

事業開始日	2023年7月1日
助成対象者	がんと診断され、その治療を行っている方で、がん治療に伴う脱毛、乳房の切除等により、医療用ウィッグや胸部補整具が必要となっている方 ※申請は、対象者一人につき一生涯2回まで
助成対象品	・医療用ウィッグ ・胸部補整具(補整下着、シリコンパッドなど)
1回当たりの助成金額	・助成対象品の購入費用又はレンタル費用の1/2(上限2万円)
周知方法	・広報まちだ ・町田市ホームページ、LINE やメール配信 ・医療機関での周知

带状疱疹ワクチンの予防接種を助成

市議会公明党では、市長への要望書や議会質問等を通じて、带状疱疹ワクチン任意予防接種への助成を要望してきました。6月定例会にて補正予算が可決され、7月1日から開始となりました。

詳細は保健所保健予防課(042-725-5422)まで。

対象者	50歳以上の市民(約21万人)
対象ワクチンと接種回数	①生ワクチン 1回 ②不活化ワクチン 2回(1回目接種から2カ月以上あけて接種)
助成額	①生ワクチン 1回あたり5,000円(1回まで) ②不活化ワクチン 1回あたり10,000円(2回まで) ※町田市で費用助成が受けられるのは、生涯に一度
接種場所	市内指定医療機関
助成開始	2023年7月1日
周知方法	広報まちだ 町田市ホームページ

山下てつや YAMASHITA Tetsuya

市議会公明党幹事長
公明党町田総支部 都市農業対策部長

昭和40年、東京都生まれ。青山学院大学経営学部を卒業後、新東亜交易株式会社に勤務。平成18年、町田市議会初当選。妻と2男1女の5人家族。モットーは「現場第一・対話第一」。下小山田在住。

